

価格以上の高機能。

「やりたいことが直ぐできる」

シンプルで直感的なユーザーインターフェースでユーザー評価の高い「ViCSiM」の後継機。

アプリケーションの使いやすさと価格はそのままに、

初心者でも手軽に車載ネットワークのシミュレーション、モニタリングが可能です。

CAN & LIN通信シミュレータ・モニタ ViCSiM II (ヴィクシムツー)

ViCSiM II

Vehicle Communication Simulator and Monitor
PA-S820



ViCSiM II PA-S820 180,000円 (税抜)
※本体・ソフトウェア含む

CAN×2 & LIN×2同時通信。

ひとつのアプリケーションでCAN2チャンネル&LIN2チャンネル同時にシミュレーション、モニタリングが可能です。

ログ再生シミュレーションに特化。

実機から収録したログデータをインポートすることでログ再生シミュレーションが可能です。

通信処理はアプリケーションを介さずハードウェアだけで行うため実機と同様の通信を再現します。

またフレーム再生送信はもちろん、リクエスト&レスポンス再生、ループ再生などシーケンシャルなシミュレーションが可能です。

ViCSiM II の新機能と変更点 (ViCSiMに対する比較)

- 車載バスとCANコントローラー間を絶縁
- LIN用+12V電源を内部生成。ACアダプタが不要に
- 約20%小型・軽量化(456cm³ → 347cm³、245g → 200g)
- ファームウェアアップデート機能に高強度暗号化技術^(※)を採用

※Chaotic and Random Neural Networks(CRNNs)暗号(特許第5504501号)

プログラミングなしで手軽にシミュレーション



単純なフレーム単発送信、連続送信シミュレーションや指定リクエストに対する応答シミュレーションはもちろん、さらにログシミュレーション機能によるシーケンシャルなシミュレーションを組み合わせることによって、プログラミングなしで手軽にCAN、LIN通信のシミュレーションが可能です。

● ログシミュレーション機能

フレームの送受信をシーケンシャルに実行する機能。開始行を指定しての実行、ステップ実行、ブレークポイント、ループ実行など、ソースレベルデバッグのような動きをさせることが可能です。

・フレーム送受信シミュレーション

指定条件のフレーム受信をチェックする「Rxデータ」と指定フレームをパスに送信する「Txデータ」を組み合わせることによりシーケンシャルなシミュレーションが可能。

・ログ再生シミュレーション

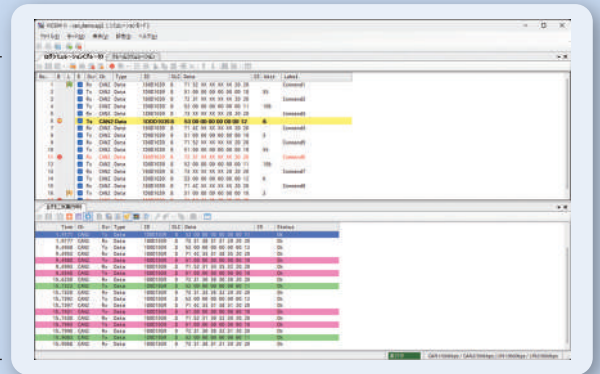
あらかじめ収録したログデータをインポートすることでログ再生シミュレーションが可能。指定IDを抽出してインポートすることで必要なIDのみの再生が可能。

・ブレークポイント

指定位置で実行を一時停止させることが可能。

・ループ実行

指定範囲の繰り返し実行させることが可能。



ログシミュレーション機能

● フレーム送信機能

フレームをパスに送信する機能。

・フレーム単発送信、連続送信

指定フレームの単発送信および連続送信が可能。連続送信時は一定周期で送信するインターバル送信、指定した回数送信するカウント送信が可能。

・LINマスターシミュレーション

LINの場合はマスターノードとしてヘッダー送信を行うマスターシミュレーションが可能。

● フレーム応答機能

指定リクエストフレームに対してレスポンスフレームを送信する機能。

・ウェイト送信

CANの場合は指定リクエストフレームを受信してからレスポンスフレームを送信するまでの待ち時間を設定可能。

・LINスレーブシミュレーション

LINの場合はスレーブノードとして指定ヘッダーに対するレスポンス送信を行うスレーブシミュレーションが可能。

● ログモニタ

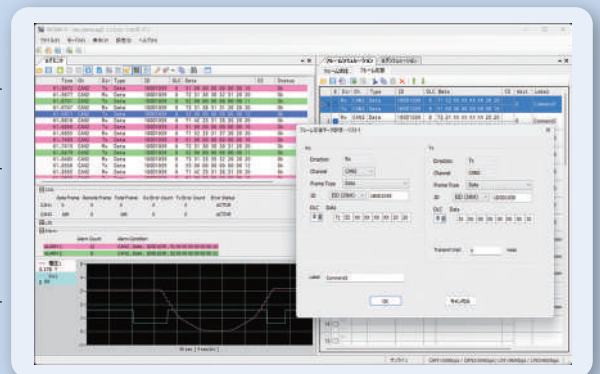
パス上流れるフレームをモニタリングする機能。CAN2チャンネル、LIN2チャンネルを同時にモニタリングすることが可能です。

・グラフ表示

指定フレームのデータを物理値に変換しグラフ描画可能。

・アラーム表示

指定フレームを色付きで強調表示可能。



フレーム応答機能、ログモニタ

ご希望に合わせて柔軟にカスタマイズ可能

ViCSiM II はお客様の仕様に合わせてカスタマイズはもちろんツール開発のご相談にも応じます。
(既存アプリケーションへの機能追加、ViCSiM II 本体ハードウェアを使用した独自システムの開発など)
導入例: 故障診断機評価ツール、ECU製造検査ツール、ECUデータ書き込みツールなど。

弊社が長年、車両通信機器の開発現場に関わりそこで養われたノウハウをもってご希望通りのソリューションをご提供いたします。

※費用は別途お見積りさせていただきます。



主な仕様					
CAN	チャンネル	2チャンネル	ログシミュレーション機能	最大登録フレーム数	10万フレーム
	規格	CAN規格2.0B対応	フレーム送信機能	最大登録フレーム数	50フレーム
	ボーレート	10k/20k/33.3k/ 83.3k/100k/125k/250k/500k/ 800k/1Mbps(選択式)	フレーム応答機能	最大登録フレーム数	2×50フレーム
			ログモニタ	最大表示フレーム数	100万フレーム
	ターミネータ	あり(ON/OFF可)	外形寸法	100mm(W) x 88mm(D) x 38mm(H)	
重量	200g(本体のみ)				
LIN	チャンネル	2チャンネル	電源仕様	USB/バスパワー	
	規格	LIN規格1.3、2.0、2.1、2.2対応 ※通信層のみ対応	ターゲットI/F	Dsub15pin(メスコネクタ)、内部制御回路と絶縁	
	ボーレート	2400/9600/10400/19200kbps(選択式)	ホストI/F	USB 2.0 High Speed(TypeBコネクタ)	
	電源	ViCSiM II 本体に内蔵	搭載メモリ	32MByte	
	フルアップ	あり(ON/OFF可)	動作温度	0℃~50℃(結露なきこと)	
対応OS	Windows 10 32bit版、Windows 10/11 64bit版				



株式会社 ピーアンドエーテクノロジーズ
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡二丁目4-23
ヘルステック・イノベーション・ハブ101
TEL.019-601-3272 FAX.019-601-3273
<https://www.pa-tec.com/>

お問い合わせ先